

火山と生きる

知恵を求めて

2025火山砂防フォーラム開催

火が火山砂防について考える「2025火山砂防フォーラム」が10月30、31日、洞爺湖町文化センターで開かれました。

道内外の行政機関などから約800人が参加し、初日は、

洞爺湖有珠火山マイスターと御嶽山火山マイスターの5人が活動報告。2000年の有珠山噴火や、多くの死傷者を出した2014年の御嶽山噴火など火山の危険を指摘しながら、地元観光に与える恩恵も解説。火山と共生するため噴火について学び続ける意義を語りました。

パネルディスカッションで

宮本さんは「豊かな自然があり、子育てしたいと思われる何かを求めて集まる人が増えていると思います」、越後さんは噴火当時の混乱を語りながら「噴火は怖いが良質な温泉も火山活動があるからこそです」とそれぞれ有珠山がもたらす恵みを語りました。この他にパネリストから

は、有珠山には泥流災害を防ぐための砂防ダムがあるため、砂防施設を活用したアドベンチャーツアーの実施や、砂防施設による土砂災害のコントロールなど災害に強いまじづくりについて提言がありました。

最終日の2日目は、現地研修会が行われ、参加者が火山科学館や金比羅火口災害遺構などを見学して有珠山噴火について学びました。

- 噴火について意見を交わした火山砂防フォーラム
- 火山の脅威と恵みを解説する火山マイスター
- 火山との共生を語るパネリスト
- 噴火の爪痕が今も残る虹田町営浴場



ワンポイント
手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。

第76回目は介護高齢課中西俊介です。

■問合せ 健康福祉課福祉支援係 (☎ 76-4006)



左手は指を丸めて置き、左手の下からすばめた右手を上げながらぱっと開きます。